

平成 28 年度 第 9 回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成 29 年 3 月 27 日（月）

14 時 00 分～17 時 00 分

場所：三重県勤労者福祉会館 5 階 第 2 教室

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 議 事

金剛川水系の整備計画について説明をし、次のような意見をいただいた。

- 説明資料の「5．現状と課題」の中で掲載している植生図は流域全体の概要を示しているものであるため、「4．流域の概要」の地形、地質の後ろに掲載した方がよい。
- アンケートで地域住民に内水氾濫、外水氾濫の区別が理解されるよう、今後の河川では検討をいただきたい。
- 前回の金剛川の流域委員会では意見が 5 点出ているが、今回の説明資料での回答は 2 点しか挙がっていないため、すべての意見に対して回答を入れてほしい。
- 整備基本方針では、放水路案が棄却された理由として「橋梁の改築が困難」とある。一方で河道改修案では、計画の概要に橋梁改築がある。これらの違いが理解できるよう、説明資料に記載した方がよい。

笹笛川水系の整備計画について説明をし、次のような意見をいただいた。

- 整備計画メニューの設定方針について、浚渫だけでなく樹木伐採においても、生物の生息・生育環境への影響に留意しつつ実施することを明記してほしい。
- 近畿地区・鳥類レッドデータブックにより繁殖個体が重要種と指定されているため、アオジが重要種として挙げられているが三重県での繁殖は確認されていないので重要種の選定基準を見直した方がよい。
- 平成 13 年魚類調査においてソウギョが確認されているが、誤同定の可能性があるので、確認してほしい。
- 歴史・文化財についての記述を明和町史等を参考に増やしてほしい。
- アンケート項目の分類で「整備」という項目では「治水」だけでなく「環境」なども関るので、わかりやすく整理してほしい。
- 縦断面図における計画河床高を見ると 2 カ所ほど段落ちが確認できるため、連続性の維持に配慮した整備をしてほしい。
- 斎宮調整池からの流量を増やせば、土砂の堆積や樹木の繁茂、流れの淀みといった問題は改善できると思うので、流量の増加を検討してほしい。
- 昨年、明和町全体が文化庁の日本遺産に登録されているので、明記してほしい。
- 参考資料の植物で「ミズギボウシ」が笹笛川で確認されているとあるが、川の中にあるような種ではないので、確認してほしい。

田中川水系の整備計画について説明をし、次のような意見をいただいた。

- 参考資料の生物リストに、自生種か園芸種かの区別できる情報を備考等に追加してもらいたい。
- 説明資料の P56 における洪水対策は、局所的な堤防嵩上げを実施するのであれば「河床掘削等」と記載すべきではないか。
- 田中川流域には親水公園も整備されているので、河川利用に関する対策も追加していただきたい。
- 津波対策について、他の河川と記載内容に大きな違いがなく、各河川の状況が見えないのではないかと。特に、地域住民の安全に直結する L1 津波と L2 津波の対応状況については明確に記載すべきではないか。

4. 閉 会